

< 授 業 記 録 >

教師の発問・生徒の反応

学習の様子

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(14:10)

T: 前回から始まったリデザインの授業の振り返りから始めたいと思います。前回、三中の中で改善したいところを探してきてもらいました。どんな立場で見てきたか、また、どんな改善箇所を見つけてきたか教えてもらってよいですか。

S: 私は地域の方の立場で探してきて、見つけてきた場所は各教室です。改善すべき点は各教室の表示文字の工夫です。フォントが見づらいこと、文字が小さいこと、また、日本語だけだと海外の人に分かりづらいので改善した方がよいと思いました。

S: 1・2年生の玄関前の階段は、足の不自由な人の立場で考えると、段差がきつくて、転ぶと一番上から落ちてけがをしまうこともあると思うので、地面の材質をコンクリートから柔らかい素材に替えるとよいと思いました。

T: 今日は、前回立ててもらった主題をさらによりよくしようという1時間になります。

<めあて>
改善点について意見交流し、リデザインに向けて主題を決めよう



2 模擬体験から見つけた改善箇所について意見交流しながら、リデザインに向けた主題を考える。(14:15)

T: 主題とは、作品に込めたい思いや願いを具体的な言葉で表したのになります。例えば、正面玄関について「誰もが使いやすい玄関」と主題とは言えません。さらに具体的に、「カラフルで鮮やかなスロープがあって、誰もが来たいと思う正面玄関にしたい」等、自分が目指したいものを言葉で表現してもらいたいと思います。それを最終的にデザインしていきます。

T: 今日はこの後、意見交流してもらいます。それぞれの主題を説明した後、ムーブノートのコメント機能を使って友達にアドバイスしてほしいと思います。班を移動して主題が気になる人のところへ行ってリサーチしても構いません。また、再体験コーナーが真ん中にあるので、自由に確かめてもらって構いません。最終的にもう一度主題を考えて、提出してもらいます。では、机を班の形にして始めてください。

(班で自分の模擬体験を発表)

S: 私は目の不自由な方の体験をしました。玄関のところがぼこぼこしていて危険だと思ったので、でこぼこをなくして、見た目が暗いので、明るく通やすくしたいと思いました。私の主題は、「もっと通やすく見た目のよい使いやすいデザインにすること」です。

S: 私はあっち側のトイレのドアで、重くて開けづらいことがよくあって、子どもだと背が低くて力もあまりないから開けづらいと思います。また、薄暗くて床も滑りやすく入りづらい雰囲気でした。「女子トイレ」と書いてある表示も分かりやすいものにした方がよいと思います。私の主題は、「子どもが入りやすい雰囲気で開けやすく安全なドアを付けたり、床の滑り防止などをする」です。

S: 僕は水道の蛇口が気になりました、手が不自由な人が回せないと思いました。押し上げたりして水が出せるようにするとよいと思います。



S：僕は、各教室の表示の文字を分かりやすくしたいです。最近海外の人も多いから、日本語だけでなく海外の人に分かりやすくした方が、三中に来たことがない人にも分かりやすく伝わると思いました。

(班で意見交流)

S：「子どもが入りにくい」という視点はいいね。

S：私は、〇〇くんの蛇口の発想がいいなと思う。

S：(玄関の写真を見ながら) 雨が降ると滑りやすいよね。

S：表示っていうのは、例えば2-3とか書いてあるところ？

S：表示が小さいから、見やすいフォントとか色付けてもいいと思う。

S：色が見えない人もいるから、そこは工夫した方がいいかも知れないね。

S：上だけに表示を付けるのではなくて、ドアに大きく付けてもいい。

S：水道の蛇口は、手が不自由な人でも肘で押せば出るようなものにすればいいと思う。

S：石けんで泡が付いているときにもハンドルの方が使いやすい。

S：けっこうみんないい案が出ていて良いと思う。

.....

T：今、意見交流を行ったと思うのですが、班の友達や他の班の友達のところにコメントを書いてください。

(各々タブレット上にコメントを記入する)

T：真ん中に体験コーナーもありますので、もう一回確かめたいという人は、活用してみてください。

(班での意見交流)

S：今のトイレは暗くて怖いから、カラフルな方がいい。

S：清潔感のある白がいいと思うな。

S：体験、やってみる？

(体験コーナーへ移動)

(アイマスクをつけたり手にガムテープを巻いたりして、廊下を歩いたり、水道の蛇口を回してみたりするなどの体験をする)

(席に戻る)

S：(手にガムテープを巻いている生徒に) 水道開けるとき開けづらい？

S：できるけど、結構力がいる。

T：アドバイスはできましたか？

S：他にアドバイスありますか？

S：点字ブロックがもっとあってもよいと思う。

S：玄関のところは、スロープにして斜めにすれば、雨が降ったときに水が落ちるかもしれないね？

T：皆さんのノートに主題の新しいカードを配りましたので、アドバイスを受けて、新しいよりよい主題を残してほしいと思います。

(各々タブレット上に主題を記入する)

T：何人かの人に主題を発表してもらいたと思います。

S：私の主題は、「目の見えない方が安心安全に来られる学校にする。また、誰もが学校に来たいと思える学校にする」です。

T：最初に考えたものと変わったところは？

S：「安全」という言葉を入れて、分かりやすく変えました。

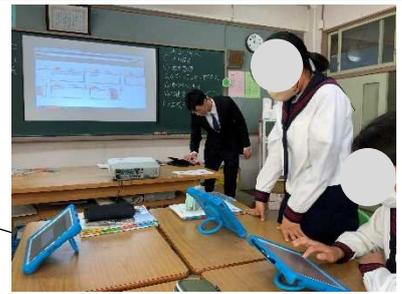
S：僕は、「障害やけがのある人でも、段差をなくし、入りやすく過ごしやすい学校にしたい」です。



S：私が考えた主題は、「軽い力や腕だけでも開けられるドアにしたい。カギを閉めるときの力が少なく、小さい子でも閉められる安全性の高いドアで、また、レールがあると、掃除の時や外れたときに付けるのが大変なので、上吊り式みたいなタイプにしたい」です。

S：私は「点字ブロックを設置して、いろんな人が使いやすくデザイン性のよい通路にする」です。

T：この後どうなるか楽しみです。皆さんそれぞれよく考えていて、デザイナーの視点をもっているなと思いました。色々な意見を生かしてくれているので、これをまた次回のデザインにつなげてほしいと思います。



3 本時の学習内容の振り返りをする。

(14:59)

T：最後、オクリンクで振り返りをお願いします。

<生徒の振り返り>

- ・友達との意見交流とアドバイスをもとにして、自分のアイデアに合うよい主題を作ることができた。また、別の班の人のアイデアを見て、新しく身の回りについて発見を深めることができたと思う。

T：今日の学習を今後のデザインに生かしてほしいと思います。



掲載先：群馬県教育委員会 各課提供・発行資料

https://gunma-boe.gsn.ed.jp/cb5189a52e719b24596b0c5e596c33df/page_20231023103724